

## 秋田市食品ロス実態調査報告書

令和2年9月28日版

## 1 実施概要

■実施日時	令和2年8月20日（木）21日（金）
■作業場所	秋田市総合環境センター 旧焼却棟ステージ
■作業時間	8:30～17:00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業体制	秋田市職員のべ14名（地域別家庭ごみ組成調査） 作業員のべ4名（地域別家庭ごみ組成調査） 受託業者職員のべ6名（食品ロス調査）
■調査試料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。</li> <li>・調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央地区、東部地区、西部地区、南部地区、北部地区、河辺・雄和地区の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【8月20日】 中央地区（檜山11袋）、東部地区（東通10袋）、西部地区（新屋元町又は日吉町5袋）、南部地区（御所野8袋）、北部地区（下新城中野6袋、金足6袋）、河辺・雄和地区（河辺4袋） 【8月21日】 中央地区（川尻6袋、大町6袋）、東部地区（添川4袋、旭川4袋）、西部地区（新屋勝平町6袋）、南部地区（上北手8袋）、北部地区（飯島12袋）、河辺・雄和地区（雄和4袋）</li> <li>・調査試料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg～150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約186kgとした。</li> </ul>

## 2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

## (1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

## (2) 作業内容

- ・調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物（生ごみ）の重さを計量した。
- ・食品廃棄物のうち、手つかず食品（100%残存・50%以上残存・50%未満）と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・手つかず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

### 3 調査結果

#### (1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表 1）、6 地区の 100 袋の合計重量は 415.8kg、1 袋あたりの平均重量は約 4.2kg であった。地域別に見ると、①中央地区は 23 袋で 100.1kg、②東部地区は 18 袋で 61.0kg、③西部地区は 11 袋で 60.1kg、④南部地区は 16 袋で 64.4 kg、⑤北部地区は 24 袋で 96.4 kg、⑥河辺・雄和地区は 8 袋で 33.7 kg であった。

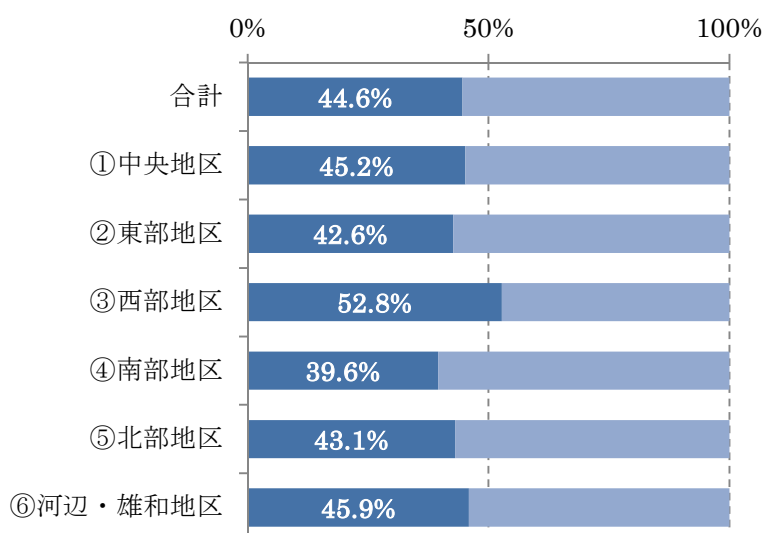
図表 1 調査対象とした試料概要（秋田市）

	袋数(個)	重量 (kg)	容量 (L)	袋あたり	
				重量 (kg)	容量 (L)
合計	100	415.8	3,455	4.2	34.6
① 中央地区	23	100.1	730	4.4	31.7
② 東部地区	18	61.0	640	3.4	35.6
③ 西部地区	11	60.1	350	5.5	31.8
④ 南部地区	16	64.4	585	4.0	36.6
⑤ 北部地区	24	96.4	830	4.0	34.6
⑥ 河辺・雄和地区	8	33.7	320	4.2	40.0

※合計は、6 地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表 2）、6 地区の合計では 44.6%、地域別に見ると③西部地区が最も高く 52.8%、次いで⑥河辺・雄和地区の 45.9%、①中央地区の 45.2%、⑤北部地区の 43.1%、②東部地区の 42.6%、④南部地区の 39.6%となっている。

図表 2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



(単位:kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C(=B/A)	食品廃棄物以外 D(=1-C)
合計	415.80	185.49	44.6%	55.4%
①中央地区	100.08	45.24	45.2%	54.8%
②東部地区	61.03	26.02	42.6%	57.4%
③西部地区	60.11	31.71	52.8%	47.2%
④南部地区	64.42	25.49	39.6%	60.4%
⑤北部地区	96.44	41.55	43.1%	56.9%
⑥河辺・雄和地区	33.72	15.48	45.9%	54.1%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

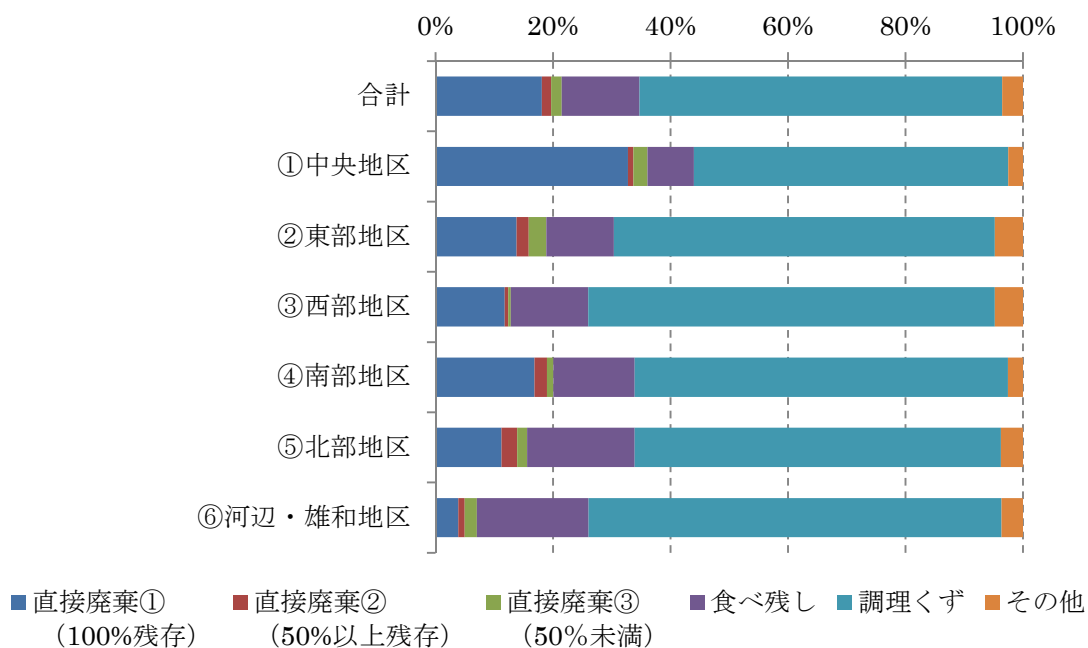
食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、6地区の合計では35.8%、地区別に見ると①中央地区が最も高く53.3%、次いで④南部地区の36.6%、⑤北部地区の35.8%、③西部地区と⑥河辺・雄和地区の24.8%、②東部地区の24.4%となっている。地区ごとに食品ロスの割合は異なり、①中央地区の食品ロスの割合は、②東部地区よりも28.9ポイント高い。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち18.6%を占めており、①中央地区で39.6%と高く、次いで④南部地区が18.2%、⑤北部地区が11.9%、③西部地区が11.2%、②東部地区が11.1%、⑥河辺・雄和地区が3.6%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計では13.7%、⑤北部地区が19.3%と高く、次いで、⑥河辺・雄和地区の18.1%、②東部地区が最も低く9.2%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	35.8%	18.6%	1.6%	1.8%	13.7%
①中央地区	53.3%	39.6%	1.1%	2.9%	9.6%
②東部地区	24.4%	11.1%	1.7%	2.4%	9.2%
③西部地区	24.8%	11.2%	0.6%	0.4%	12.6%
④南部地区	36.6%	18.2%	2.3%	1.2%	14.9%
⑤北部地区	35.8%	11.9%	2.8%	1.8%	19.3%
⑥河辺・雄和地	24.8%	3.6%	1.1%	2.0%	18.1%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

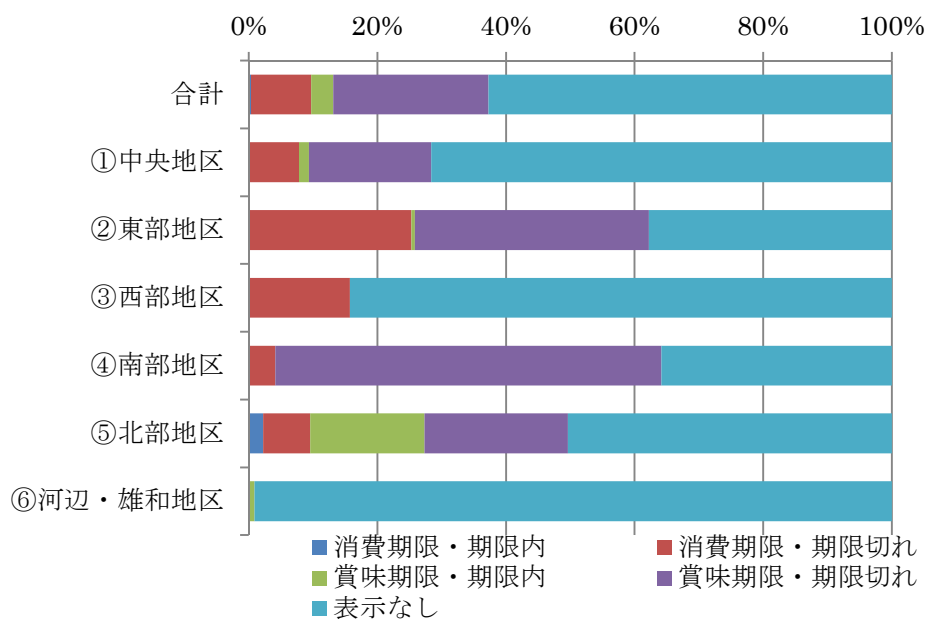
直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計では「表示なし」が最も多く62.7%であり、消費期限の表示があったものは9.7%（期限内が0.3%、期限切れが9.4%）、賞味期限の表示があったものは27.6%（期限内が3.4%、期限切れが24.2%）となっている。

消費期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち0.3%、地区別では、⑤北部地区のみで2.2%であった。

「期限切れ」については、②東部地区で最も高く25.3%であった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち3.4%、地区別に見ると⑤北部地区が最も高く17.8%となっている。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
	合計	0.3%	9.4%	3.4%	
①中央地区	0.0%	7.8%	1.6%	19.0%	71.6%
②東部地区	0.0%	25.3%	0.5%	36.4%	37.8%
③西部地区	0.0%	15.7%	0.0%	0.0%	84.3%
④南部地区	0.0%	4.1%	0.0%	60.1%	35.8%
⑤北部地区	2.2%	7.3%	17.8%	22.3%	50.4%
⑥河辺・雄和地区	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	99.1%

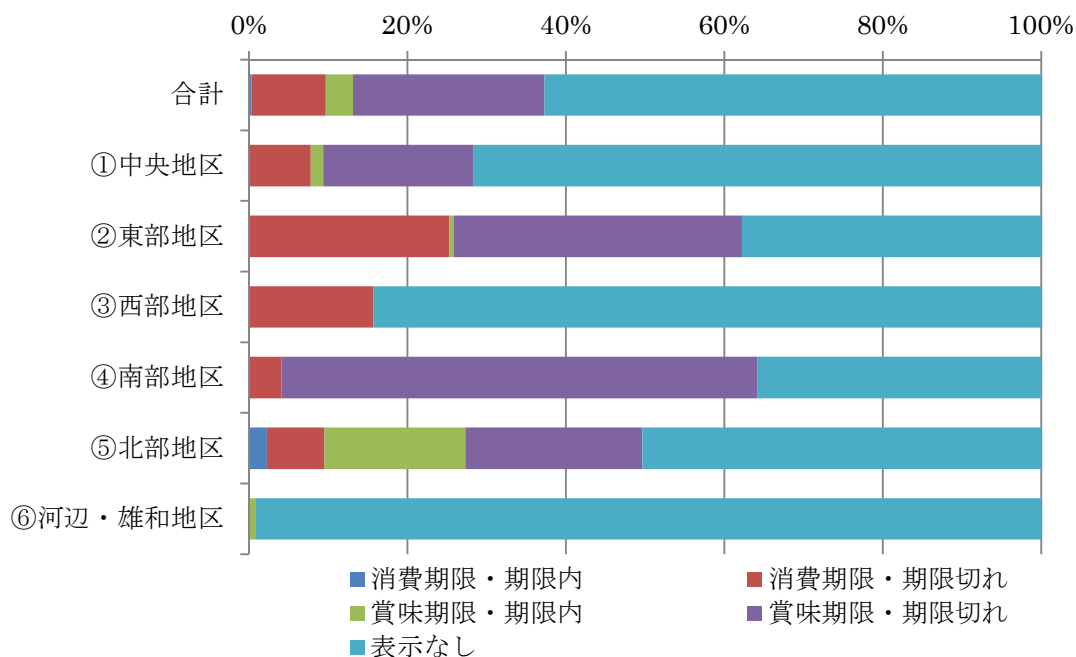
※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「表示なし」が最も多く59.6%であり、消費期限の表示があったものは10.7%（期限内0.4%、期限切れ10.3%）、賞味期限の表示があったものは29.8%（期限内5.7%、期限切れ24.1%）となっている。

消費期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち0.4%であり、地区別では、⑤北部地区のみで2.2%であった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち5.7%、地区別に見ると⑤北部地区が最も高く16.4%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.4%	10.3%	5.7%	24.1%	59.6%
①中央地区	0.0%	7.6%	2.1%	18.6%	71.7%
②東部地区	0.0%	24.3%	5.1%	33.0%	37.6%
③西部地区	0.0%	14.5%	1.4%	3.2%	80.9%
④南部地区	0.0%	4.0%	8.4%	55.5%	32.1%
⑤北部地区	2.2%	12.2%	16.4%	22.4%	46.7%
⑥河辺・雄和地区	0.0%	13.0%	6.3%	16.4%	64.3%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、平成31年度の実績を参考に一人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると80.5g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が49.7g/人・日、食べ残しが30.8g/人・日と推計された。

図表6 一人1日あたりの食品ロス発生量（秋田市）

